

はじめに

21世紀に入り、私たちにとって環境問題がますます大きな課題としてクローズアップされています。地球温暖化や熱帯多雨林の破壊など地球規模で進行する問題は、私たちにとってどうすることもできない問題に思えてしまいます。しかし、これらの人類の引き起こした問題はわたしたちひとりひとりが引き起こしたものでもあります。エネルギーをどう使用するかなどはわたしたちの暮らしぶりに直結した問題です。地球という美しい星に生まれたわたしたちは地球という大自然に守られて生きています。地球全体までにおよぶような環境問題を引き起こしてしまったわたしたちはあまりにも自然に無知だったと考えるべきでしょう。環境問題を解決しなければならないわたしたちは、まず自然をもっと深く知る必要があるのです。

自然を理解するステップとして、まずは身近な自然の営みを知ることから始めましょう。私たちのすんでいる富良野は豊かな自然に囲まれています。しかし、地球規模で起こっている様々な問題は多かれ少なかれこの富良野でも起こっています。自分たちが、まずこの富良野の自然のありのままの姿を見つめてみましょう。「木を見て森を見ず」ということばがあります。細かな部分ばかりみていたら全体の大きなところを見失うという戒めの言葉です。自然を見るのにもあてはまります。しかしまた一方で、森ばかり見ていたら木が見えてきません。森をつくる1本1本の木はそれぞれ種類や年齢がちがいます。木だけではなく森には様々な動植物がすんでいます。それらひとりひとりを無視して全体の外観だけを見ても自然を正しく見たとはいえないのです。



本書は、富良野高校で、なまこ山や空知川といったフィールドで行ってきた野外調査活動の方法や結果をもとに作成した「自然を見るガイドブック」です。また巻末には富良野高校の科学部の地道な研究成果も載せました。これらの報告はもとより、本書では富良野高校の生徒が現時点まで明らかにした生のデータをできるだけ多く掲載しました。

この本を持ちながら、なまこ山や空知川、鳥沼公園といった身近な自然に出かけ自然観察、調査活動をしていただけたら幸いです。みなさんの手で、新しい発見などデータを積み重ねながら、富良野の自然がより深く理解されていくことを望みます。



フランスの生物学者アガシーの有名な言葉に「*Study nature Not books.*」というのがあります。この本に学ぶのではなくこの本が自然に学ぶ手助けになってもらいたいと思います。この本が野山や川に親しみながら自然に学ぶきっかけになってもらえたら幸いです。



なまこ山で昆虫採集



空知川で水生昆虫を探す